

「公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き」説明会 開催まとめ

1 全体的な傾向について

- ・かなちゃん手形など、各種割引制度について知らない方が多く、周知されていない印象でした。
- ・地域内移送支援を含め、地域が主体となったコミュニティ交通等を検討する場合は、ドライバー不足が課題であるという意見が多く聞かれました。
- ・平塚駅北口～総合公園周辺の自治会では、公共交通に関する課題はあまり挙がりませんでした。
- ・平塚駅南口周辺(海岸地区)の自治会では、平塚駅北側に位置する市民病院や大型商業施設等に向かう際に乗り換えが必要になるため、循環路線や乗り継ぎ割引等を求める意見が出ました。
- ・平塚市郊外の自治会からは、路線バスの増便、市の東西を横断する路線、市民病院へ直接アクセスする路線、伊勢原駅や東海大学前駅に向かう路線の開設要望、免許返納者等を対象にした割引要望などが意見として挙がりました。

2 令和6年度以降の取組みについて

- ・手引き説明会等を通じて、なでしこ地区、岡崎地区等から地域内交通の導入について、地域と市が一緒になって導入可能性を検討したいという意見があったため、近隣自治体の事例等を踏まえて協議を進めてまいります。

3 手引き説明会のまとめ

日付	対象	主な意見
R5 年度	2.28 四之宮地区自治会連合会 (連合自治会長へ説明。4月定例会で説明していただく予定)	バス路線が充実しており、特に不便は感じないが、公民館で地域のイベントを開催する際に、地域内を循環する交通手段があると便利である。
	2.9 崇善地区自治会連絡協議会 (連合自治会長へ説明。定例会で説明していただいた)	平塚駅まで徒歩で行くこともできるため、路線バスの不便は感じないが、公民館で地域のイベントを開催する際に、高齢者や障がい者等を対象にした地域内の移動手段が必要と感じる。 神奈中が実施している割引制度(かなちゃん手形等)は知らなかった。
	2.8 松原地区自治会連合会 (連合自治会長へ説明。定例会で説明していただいた)	平塚駅まで徒歩で行くこともできるため、特に不便は感じない。 厚木市では公共施設で、かなちゃん手形の購入助成券を発行している。
	2.1 富士見地区町内会連合会 (連合自治会長へ説明。定例会で説明していただいた)	富士見地区内では高齢者が増えてきており、公民館への足が遠のいている。公民館や災害時に避難所に向かう足があれば良いと感じることがある。
	1.18 八幡地区自治会連合会 (連合自治会長へ説明。定例会で説明していただいた)	平塚駅まで自転車や徒歩で行くこともできるため、特に不便は感じない。 神奈中が実施している割引制度(かなちゃん手形等)は知らなかった。
	12.26 大原自治連合会 (連合自治会長へ説明。定例会で説明していただいた)	公共交通が充実しており、特段の意見はない。

	12.20	伊勢山自治会連合会 (連合自治会長へ説明。定例会等で説明していただいた)	地域で交通の課題を聞いたことは無いが、南北都市軸の新たな公共交通を検討してほしい。
	12.4	中原地区町内会自治会連合会 (連合自治会長へ説明。定例会等で説明していただいた)	神奈中が実施している割引制度(かなちゃん手形等)は知らなかった。新川端地区、裏宿地区はバス停が遠く公共交通の利用について不便を感じる。
	11.27	東中原連合自治会(3名)	ボランティア(無償)ドライバーによる地域内移送は難しい。バスが運行しやすいよう道路の拡幅を行ってほしい。
	11.2	なでしこ地区自治連合会(7名)	コミュニティ交通導入の採算は厳しいと思うが、地域内交通の問題を解決するため、市と一緒に取り組みたい。
	10.26	花水地区自治会連絡協議会(8名)	市民病院に行くのが大変である。コミュニティ交通導入にはコスト意識が必要。
	10.14	港地区自治会連絡協議会(12名)	東海道線をはさんで南北に循環するバス路線の開設や、バスの乗り継ぎ割引を導入してほしい。千石河岸地区、パークサイド平塚などは高齢者の移送が課題である。
	10.2	南原町内会連合会長(9名)	市内の施設に移動する際に、一度平塚駅に出なくてはならず不便。神奈中が実施している割引制度(かなちゃん手形等)を周知してほしい。
	9.12	真土連合自治会(1名) (連合自治会長へ説明。定例会等で説明していただいた)	発着点と同じでも経由地によって運賃が異なるなど、路線バスの料金体系が分かりにくい。
	7.7	田村自治連合会(25名)	特段の意見無し。(後日確認したところ、路線バスの利用促進について神奈中の宣伝に來たように感じたとのこと。)
	5.31	大神自治連合会(9名)	吉蔭地区が課題だが、デマンド交通を導入しても利用は少ないと思う。住民主体の地域内移送は、ドライバーが集まるか不安。
	5.2	横内連合自治会・横内団地連合自治会(16名)	住民主体の地域内移送支援を行う場合、高齢者の運転による事故のことを考える必要がある。
R4 年度	3.15	土屋地区自治会連絡協議会(3名) 吉沢地区自治会連合会(4名)	東海大学前駅に至るバス路線や、デマンド交通導入の検討を。上吉沢地区は交通空白地域が多く不便。
	2.10	旭南地区自治会連合会(10名)	公共交通を利用させたいのなら、割引券を配ったりしたらどうか。自治会では役員が2~3年で交代するため、地域によるコミュニティ交通運営に責任を持ってない。
	1.27	旭北自治会連合会(7名)	旭北地区と旭南地区を往来する路線がなく、地域間が移動しづらい。屋根と椅子付きのバス停がほしい。
	9.1	金田地区自治会連絡協議会(11名)	金田公民館から出ているバス路線は、病院を利用する人にとっては本数が少ない
	7.13	豊田地区自治会連絡協議会(9名)	地区内の東西交通が不便で、市民病院に通うことになった場合、足に困る。免許返納者への割引券を。
	6.20	金目地区自治会連絡協議会(14名)	市役所や市民病院へダイレクトに向かう路線がほしい。平塚駅~東海大学間の急行便に中間バス停を。
R3 年度	11.14	岡崎地区自治会連絡協議会(10名)	コミュニティバスの導入は利用が見込めず難しい。伊勢原市内の病院へ行くバスがなく不便。
	10.29	城島地区自治会連絡協議会(11名)	市民病院へ行く場合に乗り継ぐ必要があり不便。バスを増便してほしい。運賃が高い。